

令和6年12月1日(日)に町内会役員を対象とした「令和の町内会講座～地域のニーズを把握して活動に生かす～」を開催しました。講座には32名の方にご参加いただき、町内会の現状と課題や令和の町内会運営のヒントについて講義を聴いたのち、グループに分かれて「アンケート結果から見直す町内会運営」をテーマとしたワークショップを行いました。

《開催概要》

日 時：令和6年12月1日(日) 13:30～15:30
場 所：青葉区役所7階第1会議室 参加者：32名
内 容：講義／ワークショップ／発表・まとめ



■ 講義

講師の(株)KITABA 酒本宏氏から、町内会の現状と課題から令和の町内会運のヒントとして、アンケート調査の実施方法やアンケート調査から活性化につながった町内会の事例など、効果的な手法や他町内会の事例等を交えた話題提供が行われました。

■ ワークショップ

ワークショップでは、6グループに分かれ、実際に町内会で実施されたアンケート結果の結果をもとに町内会の活動や組織体制をどのように見直していけるかを考えました。

※グループごとの意見やアイデアは裏面をご覧ください。

ワークショップ全体のまとめ

● 若い世代の参加につながるイベントの見直し

- ・ 世代に合わせた行事内容を見直すことが大切である
- ・ 高齢者中心の日帰り旅行は廃止を検討する
- ・ 手軽に参加できる接点づくりを早めに調整する
- ・ アンケートで住民の意見を募集して行事を考案する

● 情報伝達のデジタル化

- ・ SNSと回覧板を併用して情報を発信する
- ・ SNSが使える人と使えない人の両方に配慮する
- ・ 情報が伝わっていない可能性を考慮し、伝達手段を複数確保する
- ・ スマートフォンの利用を推進し、若い世代との連携を図る

● 参加しやすい環境づくり

- ・ 時間帯への配慮を行う
- ・ 土日は家族で過ごす時間になっていることに配慮する
- ・ 平日参加が難しい世代への配慮を検討する
- ・ 働いている人でも参加できる時間帯を確認する

● アンケートでニーズを把握し、しっかりと対応していく

- ・ 関心事項の把握を進める
- ・ 住民が興味を持っていることを見極める
- ・ 楽しいこと、地域の人々が集まってすべきこと、自分に役立つことを重視する

グループごとの意見・アイデア

「地域のニーズを把握して活動に生かす」をテーマにした意見交換については、住民のニーズを把握するためのアンケート調査の実施方法について検討したり、アンケート調査結果から町内会事業をどのように見直せるかを意見交換しました。子育て世代やこどものニーズに沿ったイベントの実施や若い世代に届く情報発信の必要性、町内会の参加についての呼びかけ方の工夫も必要であることが話し合われました。

グループ 1

- ・ 行事の内容や世代別のニーズについて、アンケートで意見募集する
- ・ 夏祭り・芋煮会をやったが若い人が集まらなかった。手伝いを頼む方法を変える必要があると感じている
- ・ SNSや回覧板を駆使して伝達する

グループ 2

- ・ こどもたちの参加できるイベントをやってみたい
- ・ 防災訓練と炊き出しを町内会の行事として行う
- ・ 目的が明確ではない行事は、継続するかどうかを見直した方がよい

グループ 3

- ・ 若い世代のニーズに視点を変えていく必要がある
- ・ 回覧板を残しつつ電子化も進める
- ・ 組織的に役割分担を行い役員の負担を減らす

グループ 4

- ・ ホームページの作成、メール、LINE等是谁でもできるわけではないので、その取扱いを検討する
- ・ 次世代の担い手を育成する意味もあり30～50代のニーズに応えた活動を行う
- ・ イベント参加者や会員へのインセンティブを検討する

グループ 5

- ・ 若い世代・こどもが参加しやすい時間帯・イベント内容を模索する必要がある
- ・ 地域食堂・お茶会に注目し、企画・運営を若い人たち中心で行う
- ・ 町内会のデジタル化を進める

グループ 6

- ・ アンケートを作成するための話し合いの持ち方や時間に労力を使う
- ・ 若い人を中心に据えて、高齢者はサポートに回るほうがいいのではないかと思う
- ・ 情報のお知らせを複数の手段にするべき

